【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和3年12月9日(2021.12.9)

【公開番号】特開2020-69688(P2020-69688A)
【公開日】令和2年5月7日(2020.5.7)
【年通号数】公開・登録公報2020-018
【出願番号】特願2018-203963(P2018-203963)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　29/38　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　29/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　29/42　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　29/38　Ｚ
Ｂ４１Ｊ　29/00　Ｚ
Ｂ４１Ｊ　29/42　Ｆ
Ｈ０４Ｎ　1/00　９１２

【手続補正書】
【提出日】令和3年10月27日(2021.10.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像形成装置であって、
印刷ジョブを保存する保存手段と、
ユーザを認証する認証手段と、
前記認証されたユーザに関連付けて記憶される印刷ジョブを、前記ユーザからの実行指示なしに前記ユーザの認証の成功に応じて実行する自動実行機能の有効または無効の設定を記憶する記憶手段と、
前記自動実行機能の利用を制限する前記画像形成装置の所定機能の設定を有効にする第１制御手段と、
前記所定機能の設定が有効にされた場合に、前記自動実行機能の設定を無効にする、または、有効にしないように制御する第２制御手段と、
を備えることを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記第２制御手段は、前記自動実行機能の無効の設定が記憶されていて、かつ、前記所定機能の設定が有効にされた場合、前記自動実行機能の設定を有効にしないように制御することを特徴とする請求項１に記載の画像形成装置。
【請求項３】
前記第２制御手段は、前記自動実行機能の有効の設定が記憶されていて、かつ、前記所定機能の設定が有効にされた場合、前記自動実行機能の設定を無効にするように制御することを特徴とする請求項１または２に記載の画像形成装置。
【請求項４】
前記所定機能の設定を有効する指示をユーザから受け付けた場合に、表示手段に警告画面を表示させる表示制御手段をさらに備え、

前記警告画面では、前記自動実行機能の設定を無効にする、または、有効にしないように制御される旨が表示されることを特徴とする請求項１から３のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項５】
前記所定機能の設定は、暗号化セキュア印刷ジョブを受け付けて、かつ、暗号化セキュア印刷ジョブでない印刷ジョブを受け付けない設定を含むことを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項６】
前記暗号化セキュア印刷ジョブは、印刷データが暗号化されている印刷ジョブであり、前記暗号化セキュア印刷ジョブを実行する際には印刷データを復号するためのパスワードが必要となることを特徴とする請求項５に記載の画像形成装置。
【請求項７】
前記所定機能の設定は、前記ユーザの属する部門で共有設定された印刷ジョブのみを受け付ける設定を含むことを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項８】
前記所定機能の設定は、ユーザ毎に設定可能な個人設定を使用できるか否かの設定を含むことを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項９】
前記所定機能の設定は、印刷時に、前記印刷ジョブに対して課金処理を行うか否かの設定を含むことを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項１０】
前記所定機能の設定は、前記印刷ジョブに関する印刷設定制限をかけるか否かの設定を含むことを特徴とする請求項１から９のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項１１】
前記所定機能の設定は、前記印刷ジョブの実行時に、所定の警告画面を表示するか否かの設定を含むことを特徴とする請求項１から１０のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項１２】
前記所定機能は、前記自動実行機能の実行に支障をきたす可能性のある機能を含むことを特徴とする請求項１から１１のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項１３】
画像形成装置の制御方法であって、
印刷ジョブを保存する保存ステップと、
ユーザを認証する認証ステップと、
前記認証されたユーザに関連付けて記憶される印刷ジョブを、前記ユーザからの実行指示なしに前記ユーザの認証の成功に応じて実行する自動実行機能の有効または無効の設定を記憶する記憶ステップと、
前記自動実行機能の利用を制限する前記画像形成装置の所定機能の設定を有効にする第１制御ステップと、
前記所定機能の設定が有効にされた場合に、前記自動実行機能の設定を無効にする、または、有効にしないように制御する第２制御ステップと、
を含むことを特徴とする制御方法。
【請求項１４】
コンピュータを、請求項１から１２のいずれか１項に記載の画像形成装置の各手段として機能させるためのプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００７】

本発明の画像形成装置は、印刷ジョブを保存する保存手段と、ユーザを認証する認証手段と、前記認証されたユーザに関連付けて記憶される印刷ジョブを、前記ユーザからの実行指示なしに前記ユーザの認証の成功に応じて実行する自動実行機能の有効または無効の設定を記憶する記憶手段と、前記自動実行機能の利用を制限する前記画像形成装置の所定機能の設定を有効にする第１制御手段と、前記所定機能の設定が有効に設定された場合に、前記自動実行機能の設定を無効にする、または、有効にしないように制御する第２制御手段と、を備えることを特徴とする。